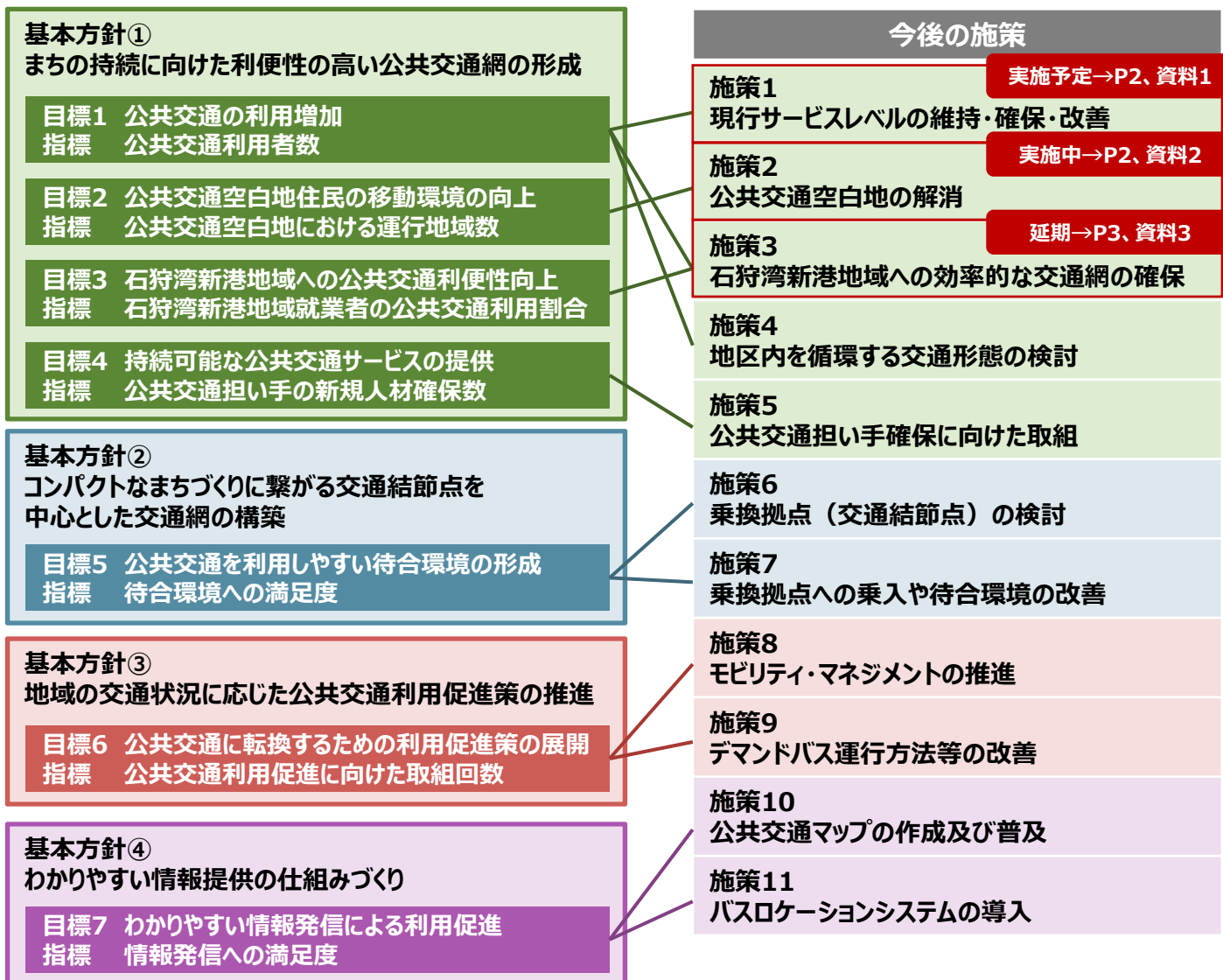




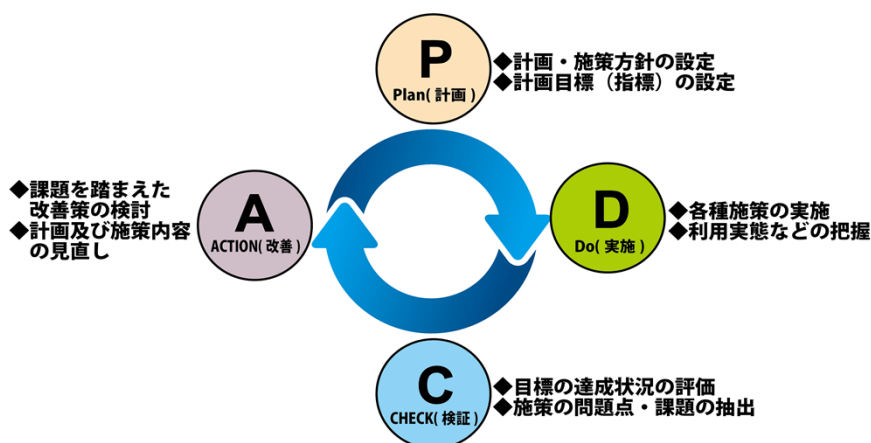
■ 計画の基本方針・目標及び施策

「石狩市地域公共交通網形成計画」で定めた計画の基本方針・目標及び目標を実現するため実施する施策は下記のとおりです。



■ 計画の進行管理

本計画で策定した基本方針及び個々の施策の進行管理については、PDCAサイクルに基づく達成状況の評価を「石狩市地域公共交通活性化協議会」が主体となって実施し、施策に関わる全ての関係者（市民、交通事業者、行政等）が評価結果について共有しながら適宜見直しを行っていきます。





「石狩市地域公共交通網形成計画」に基づき、令和3年度（1月現在）は下記の取組を実施した。

■ 主な施策の取り組み内容

実施予定

基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策1 現行サービスレベルの維持・確保・改善
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民が安心して生活できる公共交通を確保するため、公共交通の利用促進策により利用者を確保し、現在のバス路線・デマンドバス（浜厚線・滝浜線）の維持・確保に努める。 ■ 利用者ニーズとの不一致がみられる路線やダイヤについては、交通事業者と協議を進め、改善に向けて検討する。 ■ 高齢化社会の進展や障がい者の社会進出に対応するため、公共交通のバリアフリー化を推進する。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けているバスやタクシーなどの交通事業者を対象に補助金を支給し、市内に路線又は営業所を有する交通事業者の事業継続を支援する予定である。 ※補助金に関するお知らせについては、資料1参照
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 各種施策を検討中。

実施中

基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策2 公共交通空白地の解消
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通空白地である生振、美登位、北生振、八幡地区や既に有償運送が実施されている厚田区については、地域住民と意見交換を進めて日常的な移動環境（デマンドバス、乗合タクシー、公共交通空白地有償運送、スクールバス活用等）を確保する。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者の移動手段の確保が最重要課題として要望されている生振地区において、令和3年11月に第1回公共交通空白地における移動手段の確保に向けた地域住民との意見交換会を行った。 ◆ 第2回意見交換会（生振地区）は、令和4年3月に実施予定である。 ※「公共交通空白地」における地域住民との意見交換会の実施概要については、資料2参照
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 厚田区においては、厚田区地域交通サービス検討委員会にて、引き続き持続可能な移動手段の確保に向けて議論を進める。 □ 法改正を踏まえ、乗り合いタクシーやスクールバスの更なる積極的活用など検討を進める。



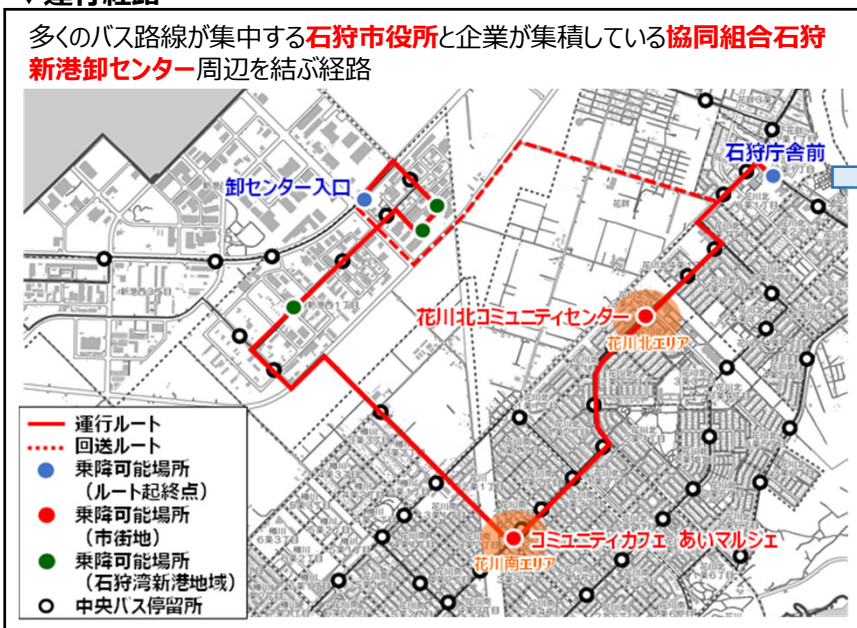
延期

基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策3 石狩湾新港地域への効率的な交通網の確保
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 操業企業のニーズや市民の潜在的な就業ニーズに対応した、新たな交通形態（乗合自動車等）も含めた効率的かつ利便性の高い交通網を確保する。 ■ 石狩湾新港地域内での交通結節点についても検討を進める。
今年度実施状況（経緯等）	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当地域においてニーズに応じた新たな交通システムを検討するため、令和2年2月から、地域団体の協力のもと、企業に対してニーズ調査を行い、5社約30名の利用者が見込まれていたことから、令和2年5月にコミュニティバスの実証実験を予定した。 ◆ しかしながら、令和2年3月以降新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発令されたため、当初予定していた実証実験を延期とした。 ◆ その後、緊急事態宣言の解除や、新生活様式が浸透してきたことから、実験再開を目指して、改めて企業の利用意思を聴取した結果、5社中4社がコロナ禍での実験参加を見送りたいとの回答であった。 ◆ このような状況において実証実験を行っても、公共交通への転換の可能性や、持続可能な運行計画を検討することが難しいと判断し、今年度も延期することとした。 ※予定していた実証実験の詳細については、資料3参照
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、多様な利用者が確保できると見込まれる時期に再開する。

【実証実験の概要】

▼運行経路



目指す効果

- 通勤手段の確保による雇用増加
- 移動手段の拡充による地域活性化

▼運行便数・運行時間

パート・アルバイトの方を主な利用者として想定し、過去に実施した新港地域就労者アンケート調査結果の出退社時間の傾向から対象運行便数を8便/日程度を想定しています。

7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
	①	②	③				④	⑤	⑥	⑦	⑧

凡例 ● : 石狩市役所発

■ : 新港地域発

▼運行期間・料金

利用者の意向（利用時間帯、支払意思額等）を調査することを目的に、1～2週間程度の無償による運行実験を実施します。

さらに、無償実験の結果を踏まえ、運賃や運行方法を検討し、有償による運行実験を実施します。

▼新たな交通システムのイメージ

